

<p>a 学校教育目標</p>	<p>夢に向かって ともに学び ともに伸びる子どもの育成 ～ かがやけ南 心はひとつ ～</p>	<p>b 経営理念 (ミッション・ビジョン)</p>	<p>【ミッション】(自校の使命) 夢を持ち、未来を切り拓く子どもの育成 【ビジョン】(自校の将来像) みんなの笑顔があふれる、安心・安全な学校 自分や相手のよさを理解し協力して活動できる子ども 児童理解に努め、個々の力の向上に向け切磋琢磨し挑戦する教職員</p>
---------------------	--	--------------------------------	--

評価計画				自己評価					改善方針	学校関係者評価				
c 中期経営 目標	d 短期経営 目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	8月	2月	i	j	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント
					h 達成 値	h 達成 値	達成 度	評価			イ	ロ	ハ	
確かな学力	主体的・対話的で深い学びを追究する	自ら考え学び合う児童	<ul style="list-style-type: none"> ○改善の視点を明確にした、子ども起点の授業づくり ・「問いの設定と探究」を視点にした授業改善を着実に進める。 ・授業・学力向上に係るICTの効果的な活用方法を追求する。 ○基礎学力の定着の徹底と個に応じた個別指導の充実 ・「チャレンジタイム」「やればできるっ！検定」「きいてねタイム」で個別目標を設定し、年間を通じて継続実施する。 	研究部 ○単元末テスト(国・算)の学校平均 8月…4月～7月分(1学期) 2月…9月～12月分(2学期) ○児童アンケート調査 ・「自分の考えを図・式・ことばなどで友達に伝えることができた」と肯定的に解答する児童の割合 ・「算数の授業がよく分かる」と肯定的に回答する児童の割合	各教科・項目ともに80%以上									
豊かな心	自他を尊重する心情・態度を育てる	思いを受け止め認め合う児童	<ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心な風土の醸成 ・「南小スタンダード」を徹底する。(挨拶・廊下歩行・言葉遣い・時間を守る・話の聴き方) ・月間目標の主体的な設定や取組交流と学校のきまり、生徒指導規定の見直しと改定を行う。 ○学級・学年経営を基盤とした支持的風土の醸成 ・教室環境を整え、生徒指導の4つの視点を生かした児童支援を行い、学習規律の徹底を図る。 ・児童会や委員会、各学年と連携し学年交流の充実を図り、意図的な活動や縦割り班活動等での児童同士のかかわりを深め、自己有用感を高める。 	生徒指導部 ○Hyper-QUIによる学級満足度 全国平均値との比較 ○自己有用感に係る児童アンケート 肯定的に回答する児童の割合 「自分にはよいところがある」 「よさを友達に認められている」	全国平均以上 80%以上									
健やかな体	心身の強さと運動能力の向上を図る	切磋琢磨し高め合う児童	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しみながらできる体力づくりの推進 ・児童の運動量の確保に向けた体育科授業改善に取り組む。(基礎体力の向上・実技研修の実施) ・外遊びの励行と充実を図る。 ○食育の推進 ・栄養士による食育指導 ・給食のもりもりキャンペーンの実施 	保体部 ○体育科授業改善に向けた職員の 実技研修の実施 ・児童アンケート調査「体を動かすことが好き」の項目80%以上 ○食育指導 ・栄養士による食育指導を各学年年間1回以上実施 ・給食アンケート調査「苦手なものも食べようと努力した」の項目80%以上	実技指導・食育指導 年間3回以上 アンケート調査肯定的評価 80%以上									
信頼される学校	保護者、地域の願いに応え、信頼される学校づくりを推進する	「地域とともにある学校」に向けた基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクール導入に向けた環境整備 ・先進校視察や市教委との連携し、校内研修や全体構想立案を行う。 ・構成メンバーや委員長・本部長等の人選をする。 ・地域・保護者と連携し、地域人材を発掘する。 	教務部 ○コミュニティ・スクール導入準備会の開催回数	2回以上									
		健康でやりがいを持って勤務できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○支持的風土の醸成と自己研鑽による人間力の向上 ・チーム力を活かし、計画的・協働的に業務を推進する。 ・教職員自身による熟議によってワークライフバランスとメンタルヘルスの意識改革を進め、改善を主体的に進める。 	総務 ○勤務時間外の在校時間が年間360時間未満の職員の割合(目安) 前期…180時間以下 後期…360時間未満 ○業務改善進捗評価アンケートによる全職員の3以上の肯定的評価の平均	80%以上									

【j: 自己評価・評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60

【l: 学校関係者評価・評価】
イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。ハ: 分からない。